

	経済学部産業社会学科
DP	産業社会学科は、本学立学の精神と、本学部の人材養成目的、ならびに本学科の人材養成目的及び教育目標にもとづき、次の資質・能力を身につけた学生に学士（経済学）の学位を授与します。 ①幅広い教養と語学力を身につけ、環境・地域・福祉・文化などの視点から現代社会の変化を読み解き、公正な立場で、新しい社会を切り開く能力を修得している。 ②経済学をもちいて経済・社会の変化を分析し、その有り方を構想できる能力を修得している。 ③現代社会の変化に柔軟に対応しながら、社会に貢献し続けていくために、生涯にわたって主体的、自立的に学ぶ能力と協働する能力を修得している。
CP	産業社会学科は、本学科の教育目標を達成し、産業社会学科生が学位授与方針に示す資質・能力を身につけるために次のような、教養教育部門と専門教育部門より構成される教育課程を編成し、実施します。学生には、科目群ごとに定められた単位数を修得し、幅広い学習を通じて経済学の枠を超えた知識を身につけることを求めます。 ①教養教育部門は、広範な学問分野にわたる科目を含み、「基軸科目群」、「人文科学科目群」、「社会科学科目群」、「自然科学科目群」、「英語科目群」、「第二外国語科目群」、「情報科学科目群」、「健康・スポーツ科学科目群」、「キャリア教育科目群」、「教養演習科目群」から構成される。本部門の諸科目を履修することにより学生は、文化、社会、自然などについての基礎的知識を習得するとともに、コミュニケーション能力、情報活用能力、論理的思考力などの汎用的技能を養う。 ②専門教育部門は、経済学の学識を深めるための部門である。本部門は、「基礎科目群」、「経済理論・経済史科目群」、「産業・社会科目群」、「ゼミナール科目群」、「フィールドワーク肇実務科目群」から構成される。体系性と順次性を踏まえて設置された本部門の科目を系統的に履修し、経済学の知識を習得することを通じて学生は、経済・社会を分析し、その問題を発見・解決する能力を養う。 ③本学科の教育上の特徴は、「一人一人の個性が尊重される教育を実現するという意図にもとづいて、ゼミナール、フィールドワークといった少人数教育の場を数多く設けていることにある。本学科は少人数教育を通じて、学生の自主的かつ持続的な探究心を育むとともに、他者との議論を通じて、相互理解に努めることの重要性を学生に認識させる。 ④成績評価と単位認定は本学科のアセスメント・ポリシーにもとづいて厳格に行う。学生が自己の達成度と将来計画に応じた学修を進めるために、ゼミナール担当教員や教務担当教員は、GPA、修得単位数、学修行動調査にもとづいた個別指導を行う。また学生が主体的に課題に取り組む姿勢やプレゼンテーション能力を身につけることができるように、ゼミナール・レポート発表会や優秀論文公募などを実施し、講評や表彰を行う。
AP	産業社会学科は、本学科の教育理念・教育目標を理解し、高等学校等における学習を通して、次のような能力・態度を身につけている人を受入れます。 ①高等学校までの学習による基礎学力を身につけている。 ②産業社会学科での学修成果を戦略・政策の立案に活かすことに興味を持っている。 ③チャレンジ精神にあふれ、感受性と積極性を持ち、生涯にわたって学び続ける意欲がある。